

活動報告

「はがき通信」懇親会 in 姫路

坂上 正司

奇跡の3日間だったのかもしれない。よく大きなトラブルもなくやりきれたものだというのが正直な感想です。

早々と4月に日程が発表され、5月からは毎月役員会で進捗状況が報告される中、なぜかいまさらながらに実行委員長を拝命した。まがいなりにも責任者になった以上、現場を一度くらいは踏んでおく必要はあるだろうと思ったが、その問いかけに対して特に返答がないことをいい意味にとらえていたのですが、思えばこの時点で気がついていればよかったです……。そして、8月に入り、本誌で姫路の観光ガイドがしっかりした質とボリュームで掲載されたときには、懇親会の成功は疑いのないものでした。

9月に入り、いよいよ3週間を切ったところで実行委員事務局長から相談の電話。聞けば、レセプションとシンポジウムの進行について何も決まっていないのでどうしましょう、という内容。その上、翌日の役員会には出席できないということで、急遽レジュメの作成。役員会で課題を整理し、実行委員総動員体制で（・・・それが当たり前やけど）やることになったわけです。実行委員事務局長とは3日に開けず、連絡を取り合い対応してた。一報、10日前になって実行委員のひとりが、メーリングリストの使い方がわからないからということでなぜか同報メールで打合せが始まり出す。。。 (ちなみにわたしはiモードのガラケー)。担当者に進捗状況確認しても返事がない・・・Facebookを覗いてみると観光地で楽しそうな写真。。。その他進行シナリオも（自分で書いてしまえばどれだけ楽か）と思いつつ当日の開催直前まで自分で考えさせながらやってもらいました。

準備段階での反省点は多々あったものの、当日無事終わることができたのはなによりです。ただ、連絡がないことはろくなことではないということを思い知らされました。

当日の詳細は実行委員事務局長にまかせて、このあたりにしたいと思います。

